

事件事例7（一般乗合）行き先表示の操作をしながら脇見運転で発進したため直前の歩行者と衝突

曜日・時間・天候	8月22日（金）・11時03分・晴
場所	営業所構内
道路の状況	乾燥
運転者	年齢56歳 運転歴26年10月
乗務開始～事故発生の乗務距離	6.1km
損害	重傷者1名
<b>事故概要</b> 当該運転者は5時7分に運行管理者の点呼を受け5時32分に出庫し、その後、所定のダイヤにより運行、10時18分駅発車庫行を約6分遅れで発車、車庫に20分遅れ（所定10時42分）で到着し、降車扱い後11時00分発駅行を運行するため、その場で方向幕操作を行い一瞬前方から目を離したため、当該バス前方を横切る乗客に気づかず発進し、衝突したものの、通常方向幕の操作は駐車場にて行うが遅延していたため、降車場所で行った。	
種別・形状	普通・リアエンジン
乗車定員	84名
当時の乗車人員	1名

